

札幌市円山動物園×気候変動教育プロジェクト

気候変動・生物多様性

タウンミーティング

in 円山動物園

参加者
募集！

11月16日(土) 第2回

アジアゾウ・オランウータン編
～アジアの森と私たちの暮らし～



詳細は
裏面へ

11月23日(土) 第3回

ゴマフアザラシ・ワシ類編
～気候変動と北海道の野生生物～

地球の長い歴史の中で、動物たちの生息環境は今、大きな変化に直面しています。それは遠い外国のできごとだけではなく、私たちの暮らす北海道も例外ではありません。その要因は、主に自然と人間の距離や関係性の変化によるものですが、そこには気候変動問題がさまざまに関わっています。

この連続企画では、動物園で暮らす動物たちがどのような変化にさらされ、そこで何が起きているのかとともに、私たちの日々の暮らしとのつながりを考えていきます。そこから、私たちがこれから世紀を越えて取り組まなければならない気候変動対策や自然再興にどう関わっていくのか、専門家とともに学び対話していきます。

第2回 アジアゾウ・オランウータン編 ～アジアの森と私たちの暮らし～

11月16日(土) 13:00～16:00

円山動物園でもとりわけ人気のあるアジアゾウやオランウータンの暮らす熱帯林は、過去半世紀で大きく変化しました。そこから生産される植物油脂や南洋材は私たちの日々の暮らしや経済を支える不可欠な資源です。そうした資源の生産や密猟、違法貿易などを含め、現地の今を知るとともに、環境や現地の暮らしに配慮した生産を後押しする仕組みや、そうした製品を私たちはどのように入手することができるのか、エシカルな暮らしや経済の可能性を学びます。

▶園内ガイドウォーク：ゾウ舎、オランウータンとボルネオの森

▶ゲストトーク・ワークショップ

・朝倉卓也さん（札幌市円山動物園）

・八木亜紀子さん（NPO法人開発教育協会プロジェクトマネージャー）

▶参加者意見交換

ファシリテーター：長谷川友子さん（対話の場づくり屋SNUG）

第3回 ゴマフアザラシ・ワシ類編 ～気候変動と北海道の野生生物～

11月23日(土) 13:00～16:00

私たちの暮らす北海道でも、気候変動が動物たちの生息状況を様々に変化させています。そこでは、悪い影響だけではなくよい影響もあり、気候変動対策自体が動物に影響を及ぼすなどその因果関係・構造はとても複雑です。ここでは北海道で身近なゴマフアザラシとワシ類をテーマに、それらを取り巻くさまざまな問題を見ていきます。そこから、今後数十年間に予想される海洋環境の変化や私たちが備えるべきこと、そして気候変動対策と生物多様性保全を両立する未来について考えていきます。

▶園内ガイドウォーク：猛禽舎、ホッキョクグマ館

▶ゲストトーク

・小林万里さん（東京農業大学生物産業学部海洋水産学科教授）

・菊池晏那さん（札幌市円山動物園）

・長谷川理さん（NPO法人EnVision環境保全事務所）

▶参加者意見交換

ファシリテーター：佐竹輝洋さん（札幌市円山動物園）

▼詳細・申し込み



[定員] 各回 25名（要申込・先着順）

各開催日3日前までに右のQRコードからお申込みください。

[参加費] この企画は参加無料ですが円山動物園の入園料（大人800円）が必要です。

[主催] 札幌市円山動物園、環境省北海道環境パートナーシップオフィス（EPO北海道（北海道地方ESD活動支援センター））

[問い合わせ] 札幌市円山動物園（担当：佐竹） TEL：011-621-1426

EPO北海道（担当：久保田） Tel：011-596-0921 Mail：epoh-webadmin@epohok.jp